

研究内容の説明文

研究課題名	ウイルス感染症に対するT細胞応答の解析
研究期間	平成28年3月～平成32年3月
研究機関名	国立感染症研究所
研究責任者職氏名	室長 立川 愛

研究の説明

1 研究の目的・意義

私たちの生活環境の中には様々なウイルスが存在していますが、正常な免疫機能を持っていれば感染しても病気になることはありません。私たちの体はウイルスに感染した細胞だけを攻撃するウイルス特異的T細胞と呼ばれる免疫細胞を増やすことにより、ウイルスを排除することができます。ところが、臓器移植や血液細胞移植後の免疫抑制状態の患者さんや、免疫力が低下するHIV感染者の方では、T細胞の数が減ったり機能が低下することにより、このようなウイルスでも日和見感染症と呼ばれる症状を呈し、命を脅かされることがあります。ウイルス特異的T細胞の働きにはヒト白血球抗原(HLA)と呼ばれる遺伝子型に関与しているため、ウイルス特異的T細胞の働きを知るためにHLA型も明らかにする必要があります。私たちは、ウイルス特異的T細胞の性質を調べ、HIV感染症や日和見感染症に対する新しい治療法を開発したいと考えています。

2 方法《献血血液の使用方法含む》

ご提供いただいた血液の中に含まれるリンパ球を、以下のように使用させていただきます。

- 1) リンパ球にはT細胞の増殖を助ける効果があるため、放射線照射をした後、ウイルス特異的T細胞と混ぜて培養します。
- 2) HLA遺伝子型を調べさせていただきます。
- 3) リンパ球中にある、さまざまなウイルス特異的T細胞を検出し、HLA遺伝子型との関連を調べます。

3 予測される研究の成果等

この研究を行うことによって、免疫不全状態でウイルス感染症が問題となっている患者さんに、ウイルス特異的T細胞を使った新たな治療を提供することができます。

4 血液の廃棄と保管

研究終了後に残っている検体は、適切に廃棄させていただきます。

受付番号 28J0039

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立感染症研究所エイズ研究センター
担当者	立川 愛
電話	03-5285-1111（内線 2320）
Mail	aiktachi@niid.go.jp